

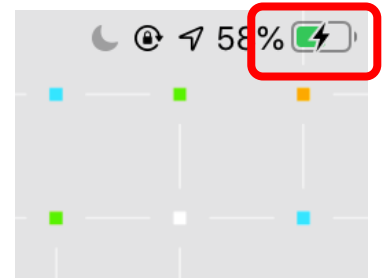
iPad の電源管理について

iPad の充電

1) 校内 iPad 保管庫にて充電

Lightning ケーブルを指して充電する

- ・ケーブルを刺した際に、かならず充電マーク（カミナリマーク）が付いているか確認してください。（充電保管庫の大本電源が抜けている場合があります）



2) 急きょ 教室にて充電する場合

Lightning ケーブルをつなぐ AC タップは 出力電圧 2A 以上のものをつかう

- ・iPhone 用の約 2cm の立方体タイプは出力電圧が 1V のため、ケーブルをつないでも iPad は充電できません。
- ・モバイルバッテリーを用意しておくのも一つの方法です




3) MESH のバックグラウンド実行について

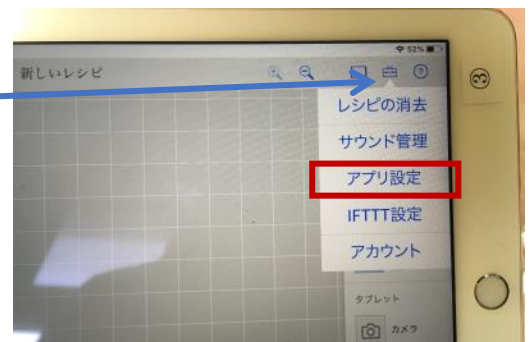
MESH のバックグラウンド実行とは、iPad の画面が消えている『スリープ状態』でも MESH のレシピを動作させることができます。（例、なにかが横切った時に明かりをつけたい、24 時間温度を測りたいなど）

※iPad をスリープ状態にする方法

- ・iPad の電源ボタンを 1 回だけ押して画面を暗くする
- ・しばらく操作しないでおくと、画面が暗くなる

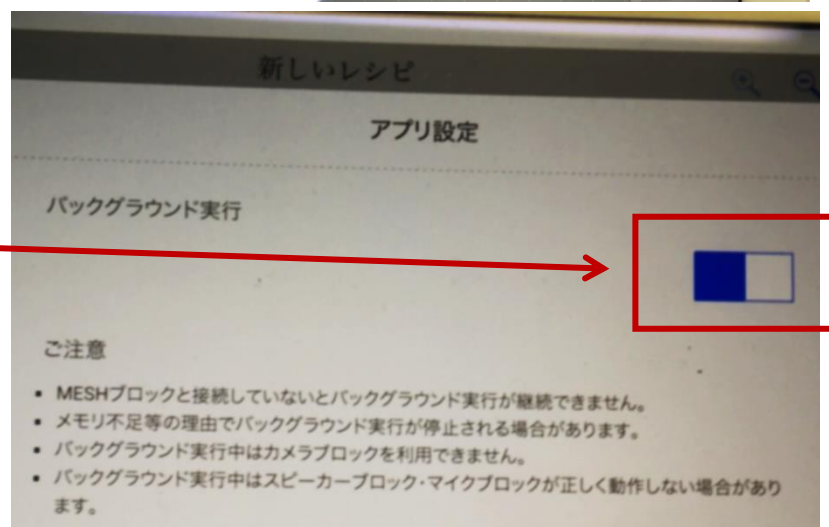
1) 現在のバックグラウンド実行の設定を確認する

- ①MESH アプリ：レシピ画面。右上  アイコンをクリックし「アプリ設定」を選択します。



- ②アプリ設定「バックグラウンド実行」

- 青白：バックグラウンド実行を許可する
- 白灰：バックグラウンド実行をしない



※MESH アプリ Ver.1.14.0 以降：

デフォルトでバックグラウンド実行は『オン』になっています。

2) iPad の通知例

レシピが開いたまま、ブロックの電源をすべて落とした状態で数分経った後に iPad の通知の例です。

Bluetooth でペアリングされたブロックの電源がすべて消えていれば、バックグラウンド実行は停止します。



3) 【ここが心配】

MESH ブロックの電源が入ったまま、なおかつ、レシピも表示されたまま iPad がスリープ状態になっていると、バックグラウンド実行が継続されたままとなり、iPad⇔MESH ブロック間の通信が実行されたままとなり、iPad も MESH ブロックも使っていないのに双方のバッテリーが消費されてしまいます。

4) 【改善案】

現在の理科の授業では、授業以外では MESH ブロックを利用することはないと考えます。

そのため、充電が減る要因を減らすために、アプリ設定のバックグラウンド実行をオフ(白灰表示)にすることを提案します。

4) iPad の 設定⇒MESH App のバックグラウンド更新 のフラグについて

App のバックグラウンド更新は、MESH アプリを常に最新版にバージョンアップするための設定です。MESH アプリを使っていない場合、常に最新バージョンの MESH アプリが出ていないかチェックをし、新しいものが出ていれば自動的にバージョンをあげてインストールする機能です。

このフラグが緑になっているとその分、バージョン確認の通信を行うためバッテリーを使用します。

現在の MESH アプリ (Ver.1.14) になにか重大なセキュリティ問題が発生しないかぎり、頻繁に更新は行う必要はないと考えます。電源消耗の早い iPad などはこちらのフラグを オフにするのも一つの方法です。



